

平成 29 年 2 月 24 日

原料費調整制度に基づく平成 29 年 4 月検針分のガス料金について

京葉ガス株式会社は、原料費調整制度に基づき、平成 29 年 4 月検針分の単位料金を、平成 29 年 3 月検針分に比べ、1 m³(45MJ/m³)につき +1.75 円(税込)調整いたします。

今回の調整は、平成 28 年 11 月～平成 29 年 1 月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、当社における標準的なご家庭(1 カ月に 32 m³ご使用)のガス料金は、平成 29 年 3 月検針分と比較して月額 56 円(税込)値上がりし、5,242 円(税込)となります。

1. 一般ガス供給約款料金表

各月のご使用量に応じて A～D の各料金が適用されます。

(税込)

料金表	1 カ月のご使用量	基本料金(円/月)	平成 29 年 4 月検針分の 単位料金(円/m ³)	(参考) 平成 29 年 3 月検針分の 単位料金(円/m ³)
A	0 m ³ から 20 m ³ まで	800.28	145.38	143.63
B	20 m ³ をこえ 100 m ³ まで	1,150.20	127.88	126.13
C	100 m ³ をこえ 350 m ³ まで	1,950.48	119.88	118.13
D	350 m ³ をこえる場合	6,489.72	106.91	105.16

□1 カ月の料金=基本料金+(単位料金×使用量)

2. 標準家庭における影響

「口座振替割引」適用の場合、下記料金より 54 円(税込)割引となります。

(税込)

1 カ月のご使用量	平成 29 年 4 月検針分の料金	平成 29 年 3 月検針分の料金	増減
32 m ³ (45MJ/m ³)	5,242 円	5,186 円	+56 円

□標準家庭における 1 カ月のご使用量(32 m³)は、家庭用の平均値です。

3. 適用する平均原料価格・原料価格変動額

		平成 29 年 4 月検針分	平成 29 年 3 月検針分
(内訳)	平均原料価格	35,050 円/トﾝ	33,070 円/トﾝ
	LNG	42,650 円/トﾝ	40,560 円/トﾝ
	LPG	47,510 円/トﾝ	42,010 円/トﾝ
原料価格変動額 (100 円未満切り捨て)		▲24,400 円/トﾝ	▲26,400 円/トﾝ

□LNG 価格、LPG 価格はともに貿易統計値(平成 28 年 11 月～平成 29 年 1 月平均)です。

4. 単位料金の算定方法

(1) 平均原料価格の算定

平均原料価格は、LNG と LPG の各平均原料価格に係数を乗じて算定します。

LNG 平均原料価格 ----- 42,650 円/ト	×	0.7303	+	LPG 平均原料価格 ----- 47,510 円/ト	×	0.0821	=	平均原料価格 ----- ① 35,050 円/ト
-----------------------------------	---	--------	---	-----------------------------------	---	--------	---	---------------------------------

□算定結果の10円未満は四捨五入し10円単位とします。

(2) 原料価格変動額の算定

平均原料価格と基準平均原料価格との差額(原料価格変動額)を算定します。

①平均原料価格 ----- 35,050 円/ト	-	基準平均原料価格 ----- 59,540 円/ト ※1	=	原料価格変動額 ----- ② ▲24,400 円/ト
--------------------------------	---	------------------------------------	---	-----------------------------------

※1 平成27年2月～4月の平均原料価格

□算定結果の100円未満は端数を切り捨て100円単位とします。

(3) 単位料金調整額の算定

原料価格変動額を次の算式にあてはめ、単位料金調整額を算定します。

(原料価格変動額100円ごとに、単位料金を0.081円/m³の割合で増減)

0.081 円/m ³	×	②原料価格変動額 ----- ▲24,400 円/ト	/	100 円	×	1+消費税率 ----- 1.08	=	単位料金調整額(税込) ----- ③ ▲21.35 円/m ³
------------------------	---	----------------------------------	---	-------	---	-------------------------	---	---

□算定結果がプラス調整時は小数点第3位以下を切り捨て、マイナス調整時は小数点第3位以下を切り上げます。

(4) 単位料金の算定(一般ガス供給約款 料金表Bの場合)

基準単位料金(税込) ----- 149.23 円/m ³	+	③単位料金調整額(税込) ----- ▲21.35 円/m ³	=	単位料金(税込) ----- ④ 127.88 円/m ³
--	---	--	---	--

【標準家庭の計算方法(一般ガス供給約款料金で1カ月のガスご使用量が32m³の場合)】

基本料金(税込) ----- 1,150.20 円 ※2	+	④ 単位料金(税込) ----- 127.88 円/m ³	×	ガスご使用量 ----- 32 m ³	=	ガス料金(税込) ----- 5,242 円/月
------------------------------------	---	--	---	--------------------------------------	---	--------------------------------

※2 一般ガス供給約款 料金表Bの基本料金

□本体料金は小数点以下を切り捨てます。

《参考》 原料費調整制度の概要

都市ガスの原料であるLNG(液化天然ガス)およびLPG(液化石油ガス)の価格変動を、毎月のガス料金に適切に反映させる制度です。

京葉ガスでは都市ガスの原料としてLNG、LPGおよび千葉県産天然ガスを使用しています。

このうちLNGとLPGの価格は、為替レートや原油価格の動きにより常に変動しています。

基本的な仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・基準平均原料価格と平均原料価格の差額(原料価格変動額)により、毎月ガス1m³あたりの単位料金を調整します。 ・平均原料価格は適用月の3～5カ月前まで(中2カ月)の3カ月平均です。 ・基本料金の変更はありません。
調整の上限	料金の大幅な上昇を避けるため、平均原料価格が95,260円/トを超えた場合には、平均原料価格を95,260円/トとしてガス料金の調整を行います。

